

地方創生に向けた新たなまちづくり紹介
「安城市みらい創造研究所」(その取組みと第1回研究成果発表会について)

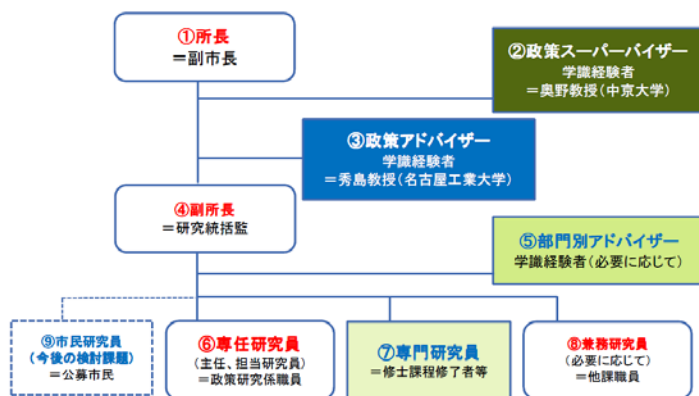
地方創生に向けて、自治体の担う役割が注目されている。そうしたなか、愛知県安城市では、行政内部に平成26年度、自治体シンクタンク「安城市みらい創造研究所」を設置し、政策立案力を高める取組みを開始、平成27年3月24日(火)、安城市文化センターにて、第1回研究成果報告会が開催された(参加者150名)。当日は、神谷学市長の挨拶ののち、日本福祉大学 後藤澄江教授の基調講演、重点的研究テーマに基づく3編の研究報告と提言、そして名古屋工業大学大学院 秀島栄三教授からの総評が行われた。同研究所の取組みとともに、研究成果概要を紹介する。



神谷市長あいさつ

【安城市みらい創造研究所の取組み】

設置年月日 平成26年4月1日(行政内部に設置)
研究所の使命 「市民一人ひとりが生活の豊かさとともに幸せを実感できる」ための政策提言を行うこと
研究所の機能 ①調査研究 ②政策支援 ③人材開発
研究体制



【研究成果発表】

1. 「歩くこと」を基盤にした健康政策のあり方に関する研究—
愛知県安城市において「歩くこと」を効果的に推進するための
の視点— (担当研究員 神谷晃司)

高齢化社会における「歩くこと」をはじめとする身体活動力の向上の重要性に着目して、その社会環境整備の必要性が提示された。さらに、その実現には全市で取り組む横断的な取組みと市民・行政双方の意識づくりが重要であ



発表者：左から神谷氏、伴野氏、久野氏、秀島教授、立石氏、仲道氏(司会)

るとする報告がなされた。

2. 安城市における少子化の課題と対策に関する研究(担当研究員:伴野裕樹)

安城市の出生率、社会増減の特徴と課題について分析を行ったうえで、安城市が重点的に取り組むべき政策の方向性が提言された。提案では、産業振興や男女共同参画など分野横断的な取組みの必要性について報告がなされた。

3. コミュニティを基盤としたまちづくりに関する研究—愛知県安城市の都市アイデンティティ獲得に向けて—(専門研究員 立石祥子)

工業化、商業化が進むなかで、地域のアイデンティティが希薄になっている問題意識を提起し、求められる次の都市像から、安城市のイメージ戦略の課題分析が報告された。提言では、都市空間・都市構造の視点から、立体的で連続性をもったまとまりが重要であるとした指摘がなされた。

4. 総合計画への提言(主任研究員 久野晃広)

研究所として次期総合計画への基本理念や重点課題について提案がなされた。また実際の総合計画策定作業においても、研究所の取組みが、基本理念や分野別計画に反映されている状況が報告された。

【総評】 秀島栄三教授(名古屋工業大学大学院)

行政職員自らがシンクタンク的な発想(異分野連携、未来志向、成果志向など)で取り組んだ意義と重要性を述べられ、研究内容と1年間の取組みを総括した。

(文責 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 永柳 宏)